

令和7年度 第1回学校運営協議会報告書

令和7年5月26日 13:15～ 領内小学校 低学年図書室にて

- 1 開会のことば
- 2 校長あいさつ
- 3 学校運営協議会委員自己紹介（出席者12名）
- 4 協議事項
 - (1) 役員選出（会長、副会長、コーディネーター）

「稲沢市立小中学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」をもとに選出
 - (2) 学校運営協議会の目的、組織について（校長）

学校と保護者、地域が協働して子どもたちを育てていくことを確認
 - (3) 本年度の学校運営基本方針について（校長）

「領内っ子」の合い言葉：「いい顔・いい汗・いい心」
教職員・家庭・地域の協働体制と創意工夫を大切に、学校運営の活性化を図ることで、「ふるさと領内」の中で児童が生き生きと学び育つ魅力ある学校づくりを進める（グランドデザインをもとに説明）。低・中・高学年ごとの目指す児童像を掲げ、意識して指導に当たっている。
 - (4) 教育活動について（教務主任）
 - ・ 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に向けた具体的な取組の説明
 - ・ 現職教育の取組の説明
本年度のテーマ「仲間と共に学ぶ喜びを感じ、主体的に学びに向かう児童の育成～授業のUD化と考える土台となる知識・技能の定着と支援の工夫を通して～」
 - (5) 施設・設備、防災について（校務主任）
 - ・ 昨年度の整備箇所と環境整備についての説明
（昨年度の整備箇所：2階廊下床の張替、軽量テントの新規購入、校舎内階段手すりの塗装）
 - ・ 防災教育、避難訓練、引き取り下校訓練、不審者対応訓練の説明
 - (6) 学校支援ボランティアについて（事務主査）
 - ・ 教科指導補助、環境整備、図書等のボランティアの紹介をして募集している。今年度は、新たに「ワックスがけ」を新設した。年間予定に沿って、無理のない範囲で活動していただく予定である。また、できるだけ早めに活動時期を知らせるようにする。
 - (7) 本年度の学校運営協議会の年間活動計画について（教頭）
 - ・ 年3回開催、今後の開催日時と活動内容の説明
 - ・ 第2回…10月23日（木）、第3回…2月26日（木）
 - (8) 質疑応答・意見交換
 - ・ いじめや不登校についての質問 → 学校での現在の状況を回答
 - (9) 協議事項の承認
- 5 意見交換
 - ・ コロナ禍に1年生だった子どもたちが6年生になった。当時、「学校に行くのが怖い」と言っていた子どもたちが明るくなり、学校・地域・保護者で取り組んできた「挨拶運動」によって、大きな声で挨拶ができるようになってきた。
 - ・ 昨年度取り組んできた1年生と6年生のペア学年交流では、家で子どもたちがお互いのことをよく話すようになったり、卒業生を送る会で1年生が号泣したりするなど、子ども同士のつながりが感じられた。中学生になった卒業生が、通学班に手を振る姿も見られる。今後も、学校は人との交流を大切に、心をつくる場であってほしい。
 - ・ 全国的に、登下校中の子どもたちが事故に遭うケースが増えている。左右確認は自分の判断でするなど、危険意識を普段からもつようにさせたい。
 - ・ 子どもたちを地域の中で育てられるように、学校を盛り立てていきたい。今ある組織を生かしていくために、今ある活動を多くの人に広めてほしい。まずは意識の高い人が集まって活動していくが、そうでない人たちに向けても広げていく必要がある。
 - ・ 体育振興会主催の地区運動会は、おやじの会やPTAなどの力も借りて開催している。出場種目には基本的に年齢・人数制限がなく自由に参加できるため、皆が楽しめている。また、教員が競技に参加したり、片付けを一緒に行ったりするなど、地域と学校が協力している。
 - ・ 領内小学校は、地域からの大きな協力を得ている。これからも地域との連携を一層図り、子どもたちのためによりよい教育をしていくことが大切である。
- 6 閉会のことば